

知事就任後 1 年間の取組

1 徹底した現場主義の実践

☆湖北居住（平成 27 年 2 月 1 日～8 日）

長浜市木之本町杉野に居住し、地域行事に参加するとともに、電車・バスを乗り継いで県庁まで通勤することで、地域の魅力や、冬の厳しさなどを体感しました。

☆キラリ★スポーツ（H26.9 月～これまで 18 回）

平成 36 年の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、知事自らが様々なスポーツを体験・観戦することにより、大会に向けた機運醸成を図りました。

主な体験競技：バレーボール、フェンシング、グラウンドソフトボール等



キラリ★スポーツ



湖北居住

2 対話・共感・協働による県政の推進

☆「こんにちは！三日月です」（H26.9 月～これまで 15 回）

先進的な取組や特色のある活動をされている県民の皆さんを直接訪問させていただき、対話を重ねていくことで、県民の皆さんの想いを活かした県政を推進してきました。



甲賀市小原小学校にて



沖島にて

☆民間企業等との連携協定の締結

県と民間企業が双方の資源を有効に活用した協働活動を推進するため、平成26年11月にヤマト運輸(株)と、平成27年3月に(株)ローソンと包括的連携協定を締結したほか、平成27年7月にはコクヨS&T(株)と同協定を締結します。

また、平成27年1月には立命館大学と、同年4月にはびわこ成蹊スポーツ大学と協定を締結し、大学との連携・協働を着実に推進したほか、(株)ウェザーニューズとの「しが減災プロジェクト」協定、福祉制度のはざままで支援が届きにくい人びとを支える滋賀の縁創造実践センターとの公私連携協定、JAグループ滋賀との農業振興等に関する協定など、知事就任後、数多くの協定を締結し、協働の仕組みづくりを進めてきました。



ヤマト運輸(株)との締結式



(株)ローソンとの締結式

※知事就任後に締結した連携協定

平成26年度

11月10日	滋賀の縁創造実践センターとの公私連携協定
11月26日	ヤマト運輸(株)との包括的連携協定
1月7日	(株)ウェザーニューズとの「しが減災プロジェクト」協定
1月9日	立命館大学との包括連携協定
2月5日	三井住友海上火災保険株式会社および滋賀県産業支援プラザと県内企業の海外展開支援に関する協定
3月2日	東京海上日動火災保険株式会社および滋賀県産業支援プラザと県内企業の海外展開支援に関する協定
3月26日	(株)ローソンとの包括的連携協定
3月27日	県獣医師会との大規模災害時の被害動物救護活動協定
	県老人福祉施設協議会との災害時における高齢者福祉施設等への支援に関する基本協定

平成27年度

4月9日	びわこ成蹊スポーツ大学との包括連携協定
4月27日	JAグループ滋賀との農業振興等に関する協定
5月13日	県内金融機関との健康創生産業の振興に関する協定
5月21日	滋賀県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会滋賀県本部、滋賀県警察本部との不動産の貸付け等に係る薬物の製造等防止に関する協定
	近畿臨床検査薬卸連合会との災害時の臨床検査薬等の供給に関する協定
7月15日	コクヨS&T(株)との包括的連携協定

☆近江米、近江の茶など県の特産物を積極的にPR！

近江米の新品種「みずかがみ」の法被を着たり、甲賀市土山での新茶の茶摘み体験を行ったほか、「淡海の人大交流会」に出席し、首都圏で活躍しておられる300名を超える県ゆかりの方々との交流の場で、「高島ちぢみ」のファッションショーに参加するなど、県の特産物のPRに力を入れてきました。

そのほか、定例記者会見では、月に1回「今月のイチオシ」として、近江八幡市の「トマト」や甲良町の「梅」などを紹介しています。

また、キリンビール多賀工場では、滋賀県産の麦芽を一部使用した滋賀工場限定醸造のビール「滋賀づくり」の初仕込み式にも参加しました。



みずかがみのPR



新茶の茶摘み



淡海の人大交流会



定例記者会見



ビールの仕込み

☆「県民と知事との県政テレビ対話」の実施（H27.7.5）

人口減少社会でのメリット・デメリットを考えながら、どのような社会を目指すべきかについて、県民の皆さんと一緒に考えました。

※スタジオ参加者 21名

メール・ファックス、Twitterによるご意見 68件

3 世界から滋賀へ、滋賀から世界へ

昨年8月末から9月初旬にかけて世界湖沼会議に出席するため、イタリア・ペルージャを訪問したほか、10月には第9次日中知事省長交流事業出席のため中国・北京を、11月には県内企業が実施する海外事業の円滑化および安定化を図るため、ベトナム・ホーチミン市をそれぞれ訪問。

今年の6月にはマイヤーガーデン滋賀プロジェクトに参加するため、姉妹提携を結んでいるアメリカ・ミシガン州を訪問するなど、知事就任後から積極的に海外に出かけ、滋賀県をPRするとともに現地の皆さんとの交流を深めました。



イタリア・ペルージャにて



中国・北京にて



アメリカ・ミシガン州にて

4 滋賀県基本構想の策定（平成27年3月）

県政の総合的な推進のための指針であり、県民の皆さんと共有する将来ビジョンでもある滋賀県基本構想を策定しました。

基本理念は、「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀～みんなでつくろう！新しい豊かさ～」です。

加えて、現在、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」の策定作業を行っています。この戦略は、基本構想推進のエンジンとなるものです。



若手職員との意見交換

5 粘り強く卒原発へ

全国最多、14基の原発が立地する福井県若狭地域に隣接する県として、県民の生命は言うに及ばず、近畿1450万人の命の水源である琵琶湖と、その集水域である山林を守るためには、「原発に依存しない新しいエネルギー社会」の構築に取り組むとともに、使用済み核燃料の処理や廃炉対策など、いわゆる原子力の「静脈」部分の整備を国に強く求めています。

また、原子力災害を起こさせない、かつ起こってしまった際に被害を最小化するための実効性ある多重防護体制の構築を進めています。

知事就任後、原子力防災訓練を関係市はじめ関係機関と連携して、3回実施

したほか、高浜発電所の視察を行い、実際に自分の目で発電所内における緊急時対策を確認いたしました。

また、「原発に依存しない新しいエネルギー社会」の実現に向けて、エネルギーに関する事項を一元的に担当する「エネルギー政策課」を設置し、「(仮称)新しいエネルギー社会づくりの実現に向けた道筋」の検討を開始しています。

7月10日には就任後初めて福島県を訪問し、避難指示区域等の現状を視察させていただきました。未だに家に帰れない避難者の方々に想いを馳せ、改めて、粘り強く卒原発を訴えていくことを誓いました。



高浜原発視察



長浜での原子力防災訓練



福島県視察にて
津波で破壊された栽培漁業センター

6 知事政策提案集「7つ星の政策カテゴリー」ごとの主な取組

昨年7月の知事選挙で私が県民の皆さんにお約束した政策の実現に向け、この1年間で着実なスタートを切ることができました。

政策提案集に掲げた政策は、昨年度末に策定した新たな基本構想の中に引き継がれており、この基本構想を県民の皆さんとともに推進していくことで、新しい豊かさを追求してまいります。

(1) いきる～全ての人の人生の応援団

◎子育て支援

- 保育所等整備で1,422人の定員増。家庭的保育・小規模保育で210人の定員増を実現
- 保育士・保育所支援センターを設置し、潜在保育士の再就職支援、新卒者の県内就労の促進、現任保育士の離職防止に取り組むとともに、保育士修学資金貸付事業により県内就労を促進
- 新しい児童相談所の平成28(2016)年開所に向け、実施設計を前倒し実施
- 男性不妊治療の助成を開始 等



びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー

◎医療・福祉

- 健康なまちづくりを目的として、健康情報の発信、野菜一皿キャンペーンの実施、健康づくりの社会資源発掘などによる県民周知を実施
- 済生会滋賀県病院を基地病院とする京滋ドクターヘリの運航を開始
- セブン・イレブンの包括連携協定による高齢者見守り実施に向けた認知症サポーター養成の実施
- 県看護協会内に訪問看護支援センターを新たに設置し、重点的な訪問看護師の人材確保・育成を推進するなど、在宅医療・在宅見守りの取組を推進 等



ドクターヘリ就航式

◎文化・スポーツ

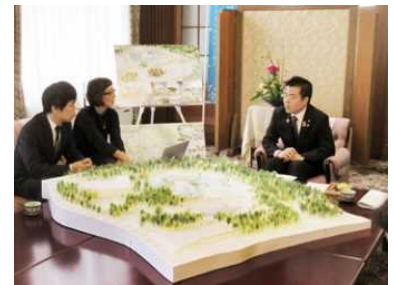
- 平成 36 (2024) 年の国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、開催準備等に子どもや若者の視点や発想を活かすジュニアユース事業や女性アスリートが女性特有の課題に対処するための研修会等を実施するとともに、主会場となる(仮称)彦根総合運動公園整備基本構想を策定。
- 滋賀ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームの活躍状況等の情報発信(スポーツナビ)や、県民との交流機会の創出(しがスポーツ大使)、プロスポーツチーム等のホームゲームの観戦促進(しがスポーツの子)などの新たな取組を実施
- 新生美術館の平成 31 (2019) 年度までの完成をめざし、整備工事の設計や作品収集等を推進 等



ジュニアユースチーム



プロバスケットボールリーグ



新生美術館の設計者との面談

◎教育

- 子どもたちの「学ぶ力」を育成するために、「学ぶ力向上 滋賀プラン」を策定するとともに、小中学校において教科指導や放課後の活用、家庭学習の充実に係る取組を推進
- 35人学級編制を小・中学校の全学年に拡充して実施
- 県立図書館に「学校図書館支援員」2名を配置し、小中学校が取り組む学校図書館のリニューアル、学校図書館活用プランの作成とそれに基づく読書活動、学習活動の実施を支援
- 県内の小学生等を対象にびわ湖ホールで舞台芸術に直接触れる機会を提供する「ホールの子」の公演数を拡大(4日8公演→5日10公演)。
- 平成 29 年度に就航予定の学習船「うみのこ」新船建造に向けて基本設計を実施。

等

◎共生社会

- 障害のある子どもと障害のない子どもが「共に学ぶ」インクルーシブ教育を推進するため、「滋賀のめざす特別支援教育ビジョン(基本ビジョン)」を策定し、市町教育委員会と連携して、適切な就学相談を推進するとともに、「副次的な学籍」など柔軟な学びのための仕組みづくりを研究

- 発達障害を含む障害のある生徒への支援を行う特別支援教育支援員を、高等学校へ新たに配置
- 建設工事の入札契約制度において、保護観察対象者等の就労支援を実施した建設企業の優遇措置を新設

等

◎地域コミュニティの活性化

- コミュニティビジネスの担い手を育成するための人材育成プログラムを新たに実施
- 祭の保存継承に関する意識調査や、モデル地区において祭の保護団体と来訪者が交流する現地探訪会を新たに実施
- 出会いから結婚につなぐためのコミュニケーション能力向上講座と交流体験活動を新たに実施

等



長浜曳山祭に参加

(2) うごく～新しい公共交通の推進

◎安心安全対策

- 道路施設の点検計画の策定、橋梁や下水道施設、公園施設に係る長寿命化計画を策定し、計画的な工事を実施
- 交通安全プログラム（市町策定）に基づく通学路等の整備
- 思いやりゾーンの指定とゾーン内に対する交通安全教育の集中実施といったソフト対策や、最高速度を30km/hに規制する地区を設定し必要な標識標示の整備を行うハード対策などにより、道路交通安全の確保を推進

等



秋の交通安全運動

◎歩いて暮らせるまちへ

- 滋賀プラス・サイクル推進協議会を中心に、自転車の安全性と利便性の向上に向け、官民連携した取組を推進するとともに、湖周道路での「矢羽根型マーク」設置を試行予定。
- JR 膳所駅(大津市)、JR 稲枝駅(彦根市)、JR 篠原駅(近江八幡市)、JR 安土駅(近江八幡市)、JR 三雲駅(湖南市)のバリアフリー化を実施。利用者にバス運行情報を提供するためのバスロケーションシステムの整備に対する支援を実施
- 地域住民の生活上必要な移動手段を確保するために、NPO 法人等が自主的・主体的に実施するデマンドタクシーの運行事業への支援を実施
- 新交通システムの導入について「大津・湖南地域新交通システム検討協議会」や、立命館大学とも連携して検討を継続。南草津エリアにおいては、平成 28 年 4 月に B R T (連節バス) が運行開始予定 等



滋賀プラス・サイクル協議会の皆さんとともに



富山市 LRT を活用したまちづくり視察

◎道路

- 湖東三山、蒲生に続く新たなスマート IC として、(仮称)小谷城スマート IC (H28 供用目標) および新名神大津スマート IC (仮称) (H35 本線同時供用目標) の整備を推進するとともに、多賀サービスエリアのスマート IC 化に向けた国の直轄調査に協力
- 道路整備アクションプログラムに基づく計画的な整備を推進
- 「道の駅」の情報発信機能強化として、新たに Wi-Fi 整備を実施

等



(仮称) 小谷城スマート IC 事業起工式



国道 8 号塩津バイパスの開通式

◎鉄道

- 関西広域連合の方針である北陸新幹線「米原ルート」について、国や関係機関との意見交換、情報収集や関西広域連合として国等への要望を実施
- 県と北びわこ3市（長浜市、米原市、高島市）が連携して、米原駅で東海道新幹線開業50周年記念式典を開催するとともに、今後10年を見据えた北びわこ地域活性化に向けた基本方針を検討し、取りまとめ
- JR湖西線開通40周年を契機に、沿線3市（大津市、高島市、長浜市）と連携した湖西線利便性向上に向けた取り組み策の展開（湖西線強風対策、バリアフリー化促進、広域観光キャンペーン等の実施等）
- 平成25年9月に発生した台風18号の被災により列車運行を休止していた信楽高原鐵道の全面復旧。（平成26年11月29日）

等



復旧した杣川橋梁（信楽高原鐵道）



知事就任後、初の公務。
JR湖西線開通40周年記念式典

◎物流

- 県内の取組について情報収集するとともに、県として可能な取組を今後検討
- 国内外の会議や大会、企業研修等のコンベンションを本県に誘致する取り組みを実施

等

（3）はたらく～みんなの力を活かす協働社会

- 県内の全ての中学2年生が5日以上職場体験を行う中学生チャレンジウィークを実施
- 滋賀マザーズジョブステーション・草津駅前を開設
- 中高年齢者を対象とした就労支援の拠点として、「シニアジョブステーション滋賀」を開設
- 企業における取組を促進するため、「滋賀県女性活躍推進企業認証制度」を創設
- 知事・副知事、部長、所属長、教育長、県立学校長、県警本部長、各警

察署長等が「イクボス宣言」を実施

等



シニアジョブステーション開設式



イクボス宣言

(4) つくる～ものづくりで元気な滋賀を！

◎ものづくり産業

- 起業家の発掘、事業化の促進、開業率の向上を図るため、起業家の立場で様々な相談に対応できるノウハウを有する人材（インキュベーション・マネージャー）を養成
- 滋賀らしい価値観を持つ商品・サービスを選定し、「ココクール マザーレイク・セレクション」として、県内外へ発信
- 成人病センターに聴覚・コミュニケーション医療センターを設置し、人工内耳手術の実施、新型人工内耳、難聴治療薬、内耳機能検査機器の開発等の取組を推進
- 滋賀県経済の発展に必要な企業の戦略的な誘致や、県内で操業中の企業のさらなる設備投資を促進するため、本社機能、研究開発拠点、マザー工場などの新規立地や県内工場の増設に対し、その費用の一部を助成する『「Made in SHIGA」企業立地助成金』を創設。併せて、障害者雇用率の達成やワーク・ライフ・バランス推進企業の知事登録等を新たな要件として追加

等

◎農林水産業

- 滋賀県にゆかりのあるお笑い芸人・宮川大輔さんを「近江米PR隊長」に任命し、「もっと食べよう『近江米』！県民運動を推進
- 学校給食に出荷する農業者が子どもたちに対して作る喜びや食の大切さを伝える農作業体験を新たに実施

- 農や食に興味のある女性が新たにアグリビジネスに取り組むきっかけとなる機会付与を目的に連続講座を新たに実施

等



近江米PR

◎エネルギー・環境

- 原子力発電に依存しない新しいエネルギー社会の実現が求められる中、再生可能エネルギーの導入促進などエネルギーに関する事項を一元的に担当する「エネルギー政策課」を設置し、「(仮称)新しいエネルギー社会の実現に向けた道筋」の検討を開始
- 姉川ダムにおいて、放流水を活用した水力発電の事業候補者を公募により決定(平成28年夏～秋に発電開始予定)
- 「ウォーターバレー滋賀」の実現に向け、本県の水環境保全のための取組を「琵琶湖モデル」として発信し、水環境分野の企業や研究機関、技術等の集積を目指すとともに、アジア等での具体的なビジネスプロジェクトの創出を展開

等



夏の節電呼びかけ

(5) まもる～豊かなびわ湖を次世代に

- 琵琶湖環境研究推進機構を中心に、生息環境の再生と餌環境の再生を目指した「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究」を実施

- 琵琶湖森林づくり条例を改正するとともに、未確認の巨樹・巨木の調査を行い、恒久的保全策を検討
- オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の徹底的な駆除を実施

等



トチノキ巨木林を視察

(6) そなえる～安全・安心社会の実現

- 流域治水を推進するため、住民・市町と協働で、地域の特性に応じた避難計画など「水害に強い地域づくり計画」の検討を実施
- 避難路の沿道にある建築物に対する耐震化指導と耐震診断費用の支援を新たに実施
- 危機管理の拠点となる滋賀県危機管理センターの整備事業を実施（平成27年6月末に建築工事完了、平成27年度中に供用開始の予定）
- 国への政策提案において、地方警察官の増員要望を実施。平成27年度は、地方警察官13名の増員が実現
- 総合防災訓練、原子力防災訓練、国民保護図上訓練等を実施。総合防災訓練では、災害時応援協定締結団体等の関係団体との連携訓練、帰宅困難者支援情報伝達訓練、メディア連携訓練等の各種訓練を実施

等



総合防災訓練



国民保護図上訓練

(7) ひろげる～ようこそ滋賀へ！

- 訪日旅行者の誘致のため、訪日外客数上位である東アジアや伸びが大きい東南アジアに対するプロモーション活動を実施
- 東京での滋賀ブランド発信機能強化の一環として、食を中心に滋賀の魅力を発信するため、秋葉原「ちゃばら」に滋賀県コーナーを開設することとし、9月オープンに向けた準備に着手
- 東京オリンピック・パラリンピックに向け、県内の大学や市町、競技団体等との連携のもと、琵琶湖を活かした滋賀ならではの事前合宿の実現を目指し誘致活動を展開
- 「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産－」が日本遺産の第一号に認定された機会を活かして、日本遺産「水の文化ツーリズム」、観光ブランド「ビワイチ」の取組により、観光資源の磨き上げと情報発信を実施予定
- 国が認定した外国人旅行者向け「広域観光周遊ルート」のうち、県内が含まれる中部圏の「昇龍道」、関西圏の「美の伝説」の2ルートを活用した広域観光の推進を検討

等

7 県政経営の主な取組

- 新たな行政経営方針を策定し、財政運営上の数値目標を設定した上で、「スクラップ・アンド・ビルドの徹底」、「選択と集中による投資的経費の重点化」などに努めたほか、基本構想の実現に向けた重点的な取組については、重点化特別枠を設定し、限られた財源の中で、効率的・効果的な予算編成を実施
- 自治振興交付金提案事業を新たに設け、従来のように県側から細かな補助対象事業や要件を示すのではなく、人口減少社会における様々な地域の課題へ対応するため市町から自由に提案いただいた事業を支援
- 高島地域に加え、新たに湖東地域においても税務事務の共同化に関する協定書を締結し、平成27年8月から共同化を開始予定

8 知事就任後に策定した各種計画

平成 27 年 3 月	滋賀県基本構想
平成 27 年 3 月	滋賀県行政経営方針

平成 26 年 10 月	第 4 次滋賀県環境総合計画
平成 26 年 12 月	第 3 次滋賀県子ども読書活動推進計画
平成 26 年 12 月	滋賀県競技力向上基本計画
平成 27 年 1 月	滋賀県動物愛護管理推進計画
平成 27 年 3 月	～自然本来の力を活かす、「滋賀のいのちの守り」～生物多様性しが戦略
平成 27 年 3 月	レイカディア滋賀高齢者福祉プラン
平成 27 年 3 月	滋賀県障害者プラン
平成 27 年 3 月	淡海子ども・若者プラン
平成 27 年 3 月	滋賀県児童虐待防止計画
平成 27 年 3 月	滋賀県配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する基本計画
平成 27 年 3 月	滋賀県産業振興ビジョン
平成 27 年 3 月	学ぶ力向上 滋賀プラン
平成 27 年 3 月	滋賀のめざす特別支援教育ビジョン

知事政策提案集・政策カテゴリーごとの取組状況

区分	項目数	取組状況		
		着手済	検討中	未着手
(1) いきる～全ての人の人生の応援団	91	81	8	2
(2) うごく～新しい公共交通の推進	28	23	3	2
(3) はたらく～みんなの力を活かす協働社会	15	14	1	0
(4) つくる～ものづくりで元気な滋賀を！	36	33	2	1
(5) まもる～豊かなびわ湖を次世代に	9	8	0	1
(6) そなえる～安全・安心社会の実現	14	14	0	0
(7) ひろげる～ようこそ滋賀へ！	16	12	2	2
計	209	185	16	8

区分	項目数	取組状況		
		着手済	検討中	未着手
行政運営	10	10	0	0
7つ地域が☆輝く政策	41	40	0	1
計	51	50	0	1

合計	260	235	16	9
----	-----	-----	----	---